

平成28年度 事業報告書

社会福祉法人 以和貴会

平成 28 年 度 事 業 報 告

施設名：特別養護老人ホーム 聖徳荘

1. 運営方針

『安全そして安心』の基本理念の基に、利用者個人の尊厳を尊重し、利用者が有する残存能力や健康状態に応じた生活を営むことができるよう、『尊敬・感謝・奉仕』の気持ちを持ち、常に利用者の立場に立ったサービスを提供するよう努める。また、利用者が安心して、楽しく生活できるよう個別支援に努める。

2. 事業方針

(1) 介護支援

| | | |
|------|---|--|
| 基本方針 | 利用者及び家族のニーズを把握し、ニーズに基づく個別のサービス計画書を作成するとともに、適切な介護支援を行い、利用者の生活の質が向上するように努める。 | |
| | 重点目標 / ・実施計画 | ◎実施報告 |
| | 1. 個別のケアプランを担当介護員とともに多職種協働で作成する。 ・多職種協働で作成し、サービス内容を十分理解しながら適切な介護支援を行い、介護サービスの向上に努める。 | ◎入所者個別のケアプランを担当介護員と共に多職種協働で作成した。 ◎入所者と関わる介護員や看護員との情報共有、共通理解を深め、サービス内容の向上に努めた。 |
| | 2. 研修に参加し、スキルアップを図る。 ・自らのケアプラン作成・実施状況について評価し、利用者の生活の質を高めるケアプランの作成、実施に努める。 | ◎研修に参加し、介護支援とスキルアップに努め、他職員との情報交換を行った。 ◎ケアプラン作成、実施状況を評価し、ケアプラン内容の向上に努めた。 |

(2) 生活相談

| | | |
|------|---|---|
| 基本方針 | 介護状態の重度化により多種多様な対応が求められることから、スキルアップを図り、個々の利用者の状態に応じた介護サービスが提供できるよう努める。 | |
| | 重点目標 / ・実施計画 | ◎実施報告 |
| | 1. 身体状態の重度化に伴い、他職種と連携強化を図る。 ・身体状況の重度化が進んできていることから、ご家族との連絡や医療機関との連携がより必要となるため、きめの細かい連絡調整を迅速に行い、他の施設職員とも連携を図りチームで対応できるような体制をつくる。 | ◎平均介護度が4.4とかなり高くなっており、医療的にも重度の方が入所することが多くなっている。これにより他の医療機関との連携を密にすることを目的として「いわき湯本病院」のソーシャルワーカー（相談担当職員）との情報交換を行った。 |
| | 2. 入所稼働率の安定化を図る。 ・利用者の重度化により入所期間が短くなることが予測できることから、スムーズな入所利用がはかれるよう、施設職員の考え方を統一し、迅速な調整に努める。 | ◎入所稼働率99.0%と昨年より0.3%の上昇となり、概ね円滑な利用調整が行えた。 |

(3) 健康管理

| | | |
|------|--|---|
| 基本方針 | 利用者の健康状態を的確に把握するとともに、嘱託医師との連絡を密にし、健康管理の徹底強化と疾病の予防に努める。 | |
| | 重点目標／・実施計画 | ◎実施報告 |
| | 1. 入所者の健康状態の管理 ・医師・看護・介護の連携のもと、入所者一人一人のバイタルサインと体調チェックをし、早め早めの対応をする。 | ◎医師・看護師・介護員・生活相談員・介護支援専門員の連携のもと、利用者一人一人のバイタルチェックと体調をチェックし、早めの対応をすることにより、重症化の防止に努めた。 |
| | 2. 誤嚥の防止 ・食前体操を行い、口腔機能を高めるとともに経管栄養者の入所者に対しても口腔体操を行い、誤嚥防止に努める。 | ◎食前体操により口腔機能を高め、経管栄養の利用者に対しても口腔体操を行い、誤嚥防止に努めた。 |
| | 3. 転倒防止 ・機能訓練を行い筋力の低下を防ぎ、転倒防止に努める。 | ◎リズム体操・歩行訓練などの機能訓練を行い、筋力低下防止に努めた。 |

(4) 給食

| | | |
|------|---|---|
| 基本方針 | 利用者の健やかな老後のため、食を通じて健康の維持・増進を図り、季節の行事食などから楽しく豊かな生活を過ごしていただく。 | |
| | 重点目標／・実施計画 | ◎実施報告 |
| | 1. 健康の維持・増進のため、個々の適切な栄養管理を図る。 ・栄養ケアマネジメントの実施により、リスク状況を把握し、他職種とともに、低栄養防止や改善に努め、個々の健康維持・増進を図る。 | ◎毎月栄養ケアマネジメントを実施し、利用者一人一人の栄養状態に応じた適切な食事提供に努め、健康維持・増進を図ることが出来た。 |
| | 2. 個々のQOL(生活の質)の向上に努める。 ・個々の嗜好にあわせ代替食を提供して、月2回の行事食などから、季節感のある豊かな食生活を過ごしていただく。 | ◎入所時の嗜好調査に応じた代替食の提供に務めた。 ◎月に1回以上行事食を実施し、旬の食材を提供して季節感のある食事に努めた。 |

(5) 職員

| | | |
|------|---|---|
| 基本方針 | 職員の健康管理に留意するとともに、職場内外の研修に積極的に参加し、専門職としての知識・技術及び資質向上に努める。 | |
| | 重点目標／・実施計画 | ◎実施報告 |
| | 1. 専門職としての資質向上に努める。 ・各研修会に積極的に参加する。 ・資格取得に努める。 | ◎各種団体主催研修に参加し、資質向上に努めた。 (「研修会参加一覧」をご参照ください。) |
| | 2. 健康管理に留意する。 ・定期健康診断の実施結果をもとに自己管理を呼びかける。 ・インフルエンザ予防接種を実施し、疾病の予防に努める。 | ◎健康診断・インフルエンザ予防接種を実施し、健康の留意を働きかけ、疾病の予防に努めた。 |

(6) 苦情処理

| | | |
|------|--|--|
| 基本方針 | 苦情発生の状況をいち早く察知し、迅速な対応ができるよう、職員全体で取り組んで行く。 | |
| | 重点目標／・実施計画 | 実施報告 |
| | 1. 基本的なミス等による苦情をなくす。 ・不適切な言葉づかいによる苦情発生をなくすため、接遇研修に職員が参加できるような機会を設ける。 | ◎苦情の発生はなかった。 ◎苦情等の研修に参加出来なかったので、研修に参加できるよう努めたい。 |
| | 1. 苦情発生の際に迅速な対応を行う。 ・苦情が発生した場合、原因を明確にし、職員で情報の共有化を図るとともに、苦情申立者に対しては、迅速・丁寧な対応を心掛ける。 | ◎苦情の発生はなかった。 更に迅速、丁寧な対応を心掛けたい。 |

(7) 事故防止

| | | |
|------|---|--|
| 基本方針 | 事故発生の原因の考察と対策を迅速に行い、ケアプラン等において対策の共有化を図れるような体制を構築する。 | |
| | 重点目標／・実施計画 | 実施報告 |
| | 1. 事故発生の原因の考察を行う。 ・事故がどうして発生したかの事故発生メカニズムをチームで考え、事故の原因となるものの改善対策を行う。 | ◎委員会で、事故が発生した原因と防止策を議論した。 |
| | 2. 事故対策としてのケアプランの活用 ・プランに事故対策を盛り込むことにより、ご家族に事故の対策を周知するとともに、職員への情報の共有化を図る。 | ◎ケアプランに事故対策を盛り込み、職員間で情報の共有を行った。 |
| | 1. 医療機関受診の迅速化 ・医療機関での治療が必要と思われる場合は、医師・生活相談員・看護師・ケアマネジャー・介護員が協働し、速やかな受診等ができるよう行動する。 | ◎家族への病状説明を医師より直接行ったことにより、医療機関への受診の迅速化が図られた。また、昨年度の医療機関への入院数は663名であったが今年度においては799名となった。 |

(8) 施設防災

| | | |
|------|---|--|
| 基本方針 | 火災・自然災害の発生を想定し、防災訓練を実施する。 | |
| | 重点目標／・実施計画 | 実施報告 |
| | 1. 防災訓練の実施 ・消防計画に沿って避難訓練を実施し、職員に対し防災に対する意識づけを行う。 | ◎防災訓練は実施したが、消防署より職員への事前告知がない訓練を勧められていることから、実施を検討したい。 |
| | 2. 防災マニュアルの策定 ・火災のみならず、自然災害などによる被災を想定し、その災害ごとにマニュアルを策定し、職員全体に内容の周知を行う。 | ◎マニュアルを策定し、職員へ周知した。 |

(9) 介護

| | | |
|--|---|--|
| 基本方針 | 身体的に重度化する利用者が、安全な生活を送ることができるよう、一人一人が情報収集を行い、サービス提供できるよう努める。 | |
| | 重点目標 / ・実施計画 | ◎実施報告 |
| 1. 情報の共有 ・情報の収集と交換を積極的に行い、部署間の円滑な連携に取り組む。 | | ◎情報が円滑に伝わるよう文章の内容を工夫し、伝達後も伝わったかどうかの確認をこまめに行った。 |
| 2. 介護技術向上 ・介護技術の研修に参加し、技術の向上に努める。 | | ◎研修に参加した職員を中心に勉強会を行い、技術の向上に努めた。 |

<各ユニット>

| ユニット名 | 目 標 / ・実施計画 | 実 施 報 告 |
|-------|---|---|
| 山の都 | 1. 身体の清潔保持・感染予防に努める。 ・入浴又は清拭・着替えを行い、身体の清潔保持に努める。 ・手洗い・消毒・うがいを徹底し、感染を防ぐ。 ・寝具類の交換をこまめに行い、清潔を保持する。 | ◎衣類の汚れがある時衣類交換を行い、清潔保持に努めた。 ◎職員自身の手洗いを徹底し、換気、室温、湿度に注意し、感染予防に努めた。 ◎汚れたシーツ類はその都度交換し、清潔保持に努めた。 |
| | 2. ADL（日常生活動作）低下防止 ・レクリエーション、機能訓練等に参加を促す。 ・残存機能を維持できるような声かけ援助をする。 ・利用者同士が交流を図ることができるような声かけ、援助に努める。 | ◎体操に参加し、機能訓練を実施した。 ◎計算問題、塗り絵を行い残存機能保持に努めた。 ◎お茶会などを実施し、利用者同士が交流を図ることができるよう努めた。 |
| | 3. ユニットの美化に努める。 ・ホール・居室・リネン庫・汚物室の整理整頓に努める。 ・季節に合わせた装飾を行い、利用者に季節を感じていただく。 | ◎ホール、居室等整頓し、快適に生活できるように努めた。 ◎季節ごとに装飾を行った。 |
| 季の都 | 1. 個人の残存機能に合った介護を目標とするユニット作り ・声かけを多く行いコミュニケーションを図るよう努める。 ・ユニット介護職員同士の情報を共有し、体調変化の見極めに努める。 | ◎利用者の体調の変化を日々の生活の中で見極め、職員間での情報を共有し、対応できるよう努めた。 ◎常に声かけし、コミュニケーションを図るよう努めた。 |
| | 2. ユニット内及び各居室の整理整頓 ・各利用者の居室を担当職員が整理整頓に努める。 | ◎居室内の整理整頓を行い、担当職員が責任を持って環境整備に努めた。 |
| 海の都 | 1. ADL（日常生活動作）低下の防止に努める ・口腔体操・機能訓練・レクリエーション活動への参加を積極的に促し、他者との交流を図ることにより機能低下防止に努める。 ・体調を管理し、寝たきりを防止する。 | ◎機能訓練への参加を促した。 ◎ユニット行事を毎月実施し、他者との交流を図り、機能低下防止に努めた。 |

| | | |
|-------|---|--|
| 海 の 都 | <p>2. 身体の清潔保持と感染予防の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣類交換をこまめに行い、常に清潔な衣類を身につける。 ・おむつ交換、入浴介助を通して身体の変化を観察する。 ・一行為一手洗い消毒を徹底し、感染を防ぐ。 | <p>◎他部署と情報を共有し、体調に合った行事参加を促し、寝たきり防止に努めた。</p> |
| 花 の 都 | <p>1. ユニット内各居室の環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に整理整頓に心がけ安全に生活できるよう努める。 | <p>◎ご家族の協力を得ながら、季節に合わせて箆箆整理を行うことにより、ベッド付近の安全の確保に努めた。</p> |
| | <p>2. 身体の清潔保持、感染予防</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣類、リネンの清潔保持。 ・一行為一手洗い消毒をして感染予防に努める。 | <p>◎汚れた衣類はすぐ交換し、常に清潔が保てるように努めた。 ◎職員も体調管理に努め、感染媒介とならないよう心がけた。</p> |
| 森 の 都 | <p>1. 身体の清潔保持と感染予防の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に清潔な衣服を身につけ、おむつ交換や入浴介助を通して身体の変化を見つけられるよう観察に努める。 ・一行為一手洗い消毒を徹底し感染を防止する。 | <p>◎衣類、リネン類の清潔保持に努め、職員一人一人が衛生管理に意識を持って業務を行った。 ◎手洗い、消毒、うがいの徹底に努めた</p> |
| | <p>2. ADL（日常生活動作）低下の予防及び安定した生活を送る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションなどに積極的に働きかける。 ・ユニット職員、他職種職員と情報を共有し、統一した介護の提供に心がける。 | <p>◎残存機能を維持できるような声かけ、介助を行った。 ◎職員間のコミュニケーションを意識し、申し送り徹底に努めた。 ◎業務改善意識を持って業務を行った。</p> |
| 空 の 都 | <p>1. ユニット内及び各居室の整理整頓。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホールの美化に努める。 ・各居室の整理整頓を徹底し、利用者の事故防止につなげる。 ・一行為一手洗いによる衛生面の徹底 ・利用者に対しての手洗いを励行し、感染防止に努める。 | <p>◎ベッド周りの整理整頓を心掛け、事故防止につなげることができた。 ◎職員自身が媒介者とならぬよう、手洗い及び消毒を徹底し、介助に努めた。</p> |
| | <p>2. 体調不良の早期発見・迅速な内容及びADL（日常生活動作）低下の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で、体調不良等の見極めができるよう、利用者の観察に努める。 ・ADL(日常生活動作) 低下に伴う状態の変化にも十分配慮してその状態にあった介助を安全に行うよう努める。 | <p>◎利用者の体調に異変を感じた場合には、血圧を測るなどして、速やかに看護職員へ報告を行い、対応することができた。</p> |

平成 28 年 度 事 業 報 告

施設名：特別養護老人ホーム 聖徳荘
 (短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業)

| | | |
|--|---|--|
| 運営方針 | 利用者ひとりひとりの心身の状況に応じた介護を行い、「安全そして安心」で安らぎのある生活を送ることができるよう支援するとともに、地域に貢献し信頼され選ばれる施設であるよう努める。 | |
| 重点目標 / ・ 実施計画 | ◎ 実施報告 | |
| <p>1. 利用者の在宅生活の継続と施設ケアの充実に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉車両を一台購入することにより、利用者送迎の充実に図る。 ・利用者の身体・精神状況にあわせた介護、生活の継続性を意識した質の高いサービスを提供する。 ・各家庭環境・利用者の背景を考慮し可能な限り利用者・家族のニーズに応えられるよう務める。 | <ul style="list-style-type: none"> ◎利用者の状況にあわせ、在宅生活の継続性を意識したサービスが提供できた。 ◎利用者、家族のニーズを把握し、そのニーズに応えられるようサービス提供に努めた。 | |
| <p>2. 利用者や地域から信頼され選ばれる施設を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状況とハード面における危険箇所を把握し、事故を予防して安全に生活していただく。 ・継続して利用いただけるように、個人にあったサービスを心がけ、リピート率を高める。 ・不安や悩みを気軽に相談できる環境を作り適切な助言・援助ができるよう努める。 | <ul style="list-style-type: none"> ◎利用者の状況、ハード面における危険箇所を把握し事故を減らすことはできたが、転倒骨折事故が発生してしまった。 ◎多くの方に継続して利用していただき、高いリピート率を達成できた。 ◎気軽に相談できる環境を作り、利用者やその家族へ適切な助言・援助ができるよう努めた。 | |
| <p>3. 給食</p> <p>健康を維持・増進するため、個々の適切な栄養管理を図る。</p> <p>個々のQOL（生活の質）の向上に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の健康状態に合わせた適切な栄養量・食事形態などを考慮し、食事提供する。 ・利用者の嗜好に合わせ、代替食を提供したり月2回の行事食などから、季節感のある豊かな食生活を過ごしていただく。 | <ul style="list-style-type: none"> ◎利用者の健康状態に適した栄養量・食態を考慮し、食事の提供に努めた。 ◎利用時の嗜好調査に応じた代替食の提供に努めた。 ◎月に1回以上行事食を実施し、旬の食材を提供して季節感のある食事に努めた。 | |

〔研修会参加一覧①〕

社会福祉法人 以和貴会
-平成28年度事業報告-

| No. | 期間 | 研修名 | 主催 | 出席人数 | 部署 | 職種 |
|-----|-----------|---|--|------|----------|--------------------------|
| 1 | H28 4月11日 | 平成28年度福島県社会福祉協議会 老人福祉協議会総会 | 社福) 福島県社会福祉協議会 老人福祉協議会 | 1 | 特養 | 施設長 |
| 2 | 4月18日 | いわき市集団給食研究会総会 | いわき集団栄養給食研究会 | 1 | 特養 | 管理栄養士 |
| 3 | 5月17日 | 平成28年度第1回福祉推進会 | いわき市社会福祉協議会 内郷地区協議会 | 1 | 特養 | 施設長 |
| 4 | 5月19日 | 第1回福祉施設協議会 研究・研修委員会 | 社福) 福島県社会福祉協議会 老人福祉協議会 | 1 | デイ | 生活相談員 |
| 5 | 5月23日 | 平成28年度福島県社協 老人福祉施設 協議会施設部会 いわき支部総会 | 福島県社協 老人福祉施設協 議会施設部会 いわき支部 | 1 | 特養 | 施設長 |
| 6 | 6月8日 | 平成28年度福島県社協 老人福祉施設 協議会 事務長等職員研修 | 社福) 福島県社会福祉協議会 老人福祉協議会 | 1 | 特養 | 主任事務員 |
| 7 | 6月16日 | 平成28年度 安全運転管理者講習会 | 福島県公安委員会 社) 福島県安全運転管理者協 会 | 1 | 特養 | 施設長 |
| 8 | 6月30日 | 平成28年度 福島県社会福祉協議会 社会福祉法人経営者協議会 並びに社 会福祉法人改革対応セミナー | 社福) 福島県社会福祉協議会 社福) 経営者協議会 | 1 | 特養 | 施設長 |
| 9 | 7月6日 | いわき市集団給食研究会 | いわき集団栄養給食研究会 | 1 | 特養 | 管理栄養士 |
| 10 | 7月18日 | (~19日) 平成28年度 キャリアパス制度導入研 修 | 社福) 福島県社会福祉協議会 | 1 | 特養 | 施設長 |
| 11 | 7月20日 | 平成28年度地域保健関係職員等研修 会「栄養改善担当者」第1回 | いわき市保健所 | 1 | 特養 | 管理栄養士 |
| 12 | 8月19日 | 社会福祉法人制度改革の施行に向け た説明会 | いわき市保健福祉課 法人指導係 | 1 | 特養 | 施設長 |
| 13 | 8月24日 | 平成29年度公益事業振興補助事業 (要望) 説明会 | 公益財団法人 J A K | 1 | 特養 | 施設長 |
| 14 | 9月8日 | (~9日) 平成28年東北ブロック老人福祉施設 研究会 | 公益財団法人全国老人福祉施 設協議会 東北ブロック老人 福祉施設協議会 仙台市老人 福祉協議会 | 1 | デイ | 生活相談員 |
| 15 | 9月27日 | 平成28年度地域保健関係職員等研修 会「栄養改善担当者」第2回 | いわき市保健所 | 1 | 特養 | 管理栄養士 |
| 16 | 9月29日 | 平成28年度介護保険サービス事業所 等集団指導講習会 | いわき市保健福祉課 法人指導係 | 3 | 特養 | 統括主任生活相談 員2 主任事務員1 |
| 17 | 9月30日 | 平成29年度介護保険サービス事業所 等集団指導講習会 | いわき市保健福祉課 法人指導係 | 1 | 居宅 | 介護支援専門員 |
| 18 | 9月30日 | 平成28年度社会福祉法人福島県社会 福祉協議会 老人福祉施設協議会「機 能訓練担当職員研修会」 | 社福) 福島県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会 | 1 | 特養 | 機能訓練指導員 |
| 19 | 10月3日 | 介護予防・日常生活支援総合事業所 説明会 | いわき市長寿介護課 介護支援係 | 2 | 特養 デイ | 施設長 生活相談員 |

〔研修会参加一覧①〕

社会福祉法人以和貴会
-平成28年度事業報告-

| No. | 期間 | 研修名 | 主催 | 出席人数 | 部署 | 職種 |
|-----|-----------|---|--|------|----|-------------------------------|
| 20 | 10月17日 | 平成28年度社会福祉法人福島県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会 介護員（4年未満）研修会 | 社福）福島県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会 | 1 | 特養 | 介護員 |
| 21 | 10月26日 | 平成28年度社会福祉法人福島県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会「医療担当職員研修会」 | 社福）福島県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会 | 1 | 特養 | 看護員 |
| 22 | 10月28日 | いわき市集団給食研究会 | いわき集団栄養給食研究会 | 1 | 特養 | 管理栄養士 |
| 23 | 10月28日 | 老人福祉施設協議会研究・研修委員会及び企画広報委員・在宅部会企画委員会合同会議 | 社福）福島県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会 | 1 | デイ | 生活相談員 |
| 24 | 11月14日 | 平成28年度社福祉施設看護等職員研修会 | 社福）福島県社会福祉協議会 | 1 | 特養 | 看護員 |
| 25 | 11月14日 | (~16日) 第73回 全国老人福祉大会 石川大会 | 公益社団法人 全国老人福祉施設協議会 社福）石川県社会福祉協議会 石川県老人福祉施設協議会 | 1 | デイ | 生活相談員 |
| 26 | 11月16日 | 医療機関・社会福祉施設等原子力災害広域避難計画策定ガイドラインの説明会 | 福島県保健福祉部高齢福祉課 | 1 | 特養 | 統括主任生活相談員 |
| 27 | 11月16日 | (~18日) 福島県介護支援専門員再研修・更新研修（実務未経験者） | 社福）福島県社会福祉協議会 | 1 | 特養 | 主任介護員 |
| 28 | 11月18日 | 平成28年度福島県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会 施設部会「介護支援専門員研修会」 | 社福）福島県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会 | 1 | 特養 | 介護支援専門員 |
| 29 | 11月22日 | 平成28年度県老協・施設部会・いわき支部職員合同研修会 担当打ち合せ会 | 老人福祉施設協議会 | 2 | 特養 | 統括主任相談員 介護支援専門員 |
| 30 | 11月24日 | 施設等における感染症対策研修会 | いわき市保健所 | 1 | 特養 | 看護員 |
| 31 | 12月5日 | (~7日) 福島県介護支援専門員再研修・更新研修（実務未経験者） | 社福）福島県社会福祉協議会 | 1 | 特養 | 主任介護員 |
| 32 | 12月7日 | 平成28年度福祉施設サービスに関する苦情解決研修会 | 社福）福島県社会福祉協議会 福島県適正化委員会 | 1 | 特養 | 統括主任生活相談員 |
| 33 | 12月7日 | 平成28年度福島県社会福祉法人経営者協議会 社会福祉法人改革対応セミナー（後期） | 社福）福島県社会福祉協議会 社福）経営者協議会 | 1 | 特養 | 施設長 |
| 34 | 12月12日 | 平成28年度「施設長会議」及び「行政との事務担当者会議」 | 福島県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会 施設部会いわき支部 | 3 | 特養 | 施設長 統括主任 生活相談員 介護 支援専門員 |
| 35 | 12月15日 | 平成28年度県老協・施設部会・いわき支部職員合同研修会 担当打ち合せ会 | 老人福祉施設協議会 | 2 | 特養 | 統括主任相談員 介護支援専門員 |
| 36 | 12月16日 | 社会福祉法人制度改革の施行に向けた説明会（第2回） | いわき市保健福祉課 法人指導係 | 1 | 特養 | 施設長 |
| 37 | H28 1月17日 | 平成28年度県老協・施設部会・いわき支部職員合同研修会 担当打ち合せ会 | 老人福祉施設協議会 | 2 | 特養 | 統括主任相談員 介護支援専門員 |
| 38 | 1月25日 | 介護職員の包括的腰痛予防研修会 | 一般社団法人 福島県理学療法士会 | 1 | デイ | 介護員 |

〔研修会参加一覧①〕

社会福祉法人以和貴会
-平成28年度事業報告-

| No. | 期間 | 研修名 | 主催 | 出席人数 | 部署 | 職種 |
|-----|-------|-------------------------------------|------------------------------|------|----------|--------------------------------------|
| 39 | 2月1日 | (~3日) 福島県介護支援専門員再研修・更新研修(実務未経験者) | 社福) 福島県社会福祉協議会 | 1 | 特養 | 主任介護員 |
| 40 | 2月2日 | いわき市集団給食研究会 | いわき集団栄養給食研究会 | 1 | 特養 | 管理栄養士 |
| 41 | 2月10日 | 水害・土砂災害への備えに関する要配慮利用者施設の管理者向け説明会 | 福島県土木部 河川整備課 | 1 | 特養 | 施設長 |
| 42 | 2月15日 | 2017年福祉大臣決算セミナー | 応研株式会社 | 1 | 特養 | 主任事務員 |
| 43 | 2月16日 | 平成28年度いわき方部介護認定調査員研修会 | いわき市保健福祉部長寿介護課 | 1 | 居宅 | 介護支援専門員 |
| 44 | 2月20日 | 平成28年度福島県社会福祉協議会老人福祉協議会 第2回総会及び研修会 | 社福) 福島県社会福祉協議会老人福祉協議会 | 1 | 特養 | 施設長 |
| 45 | 2月22日 | 平成28年度社会福祉法人会計実務者講座 | 社福) 全国社会福祉協議会全国社会福祉法人経営者協議会 | 1 | 特養 | 施設長 |
| 46 | 3月1日 | 平成28年度地域保健関係職員等研修会「栄養改善担当者」第3回 | いわき市保健所 | 1 | 特養 | 管理栄養士 |
| 47 | 3月9日 | 平成28年度福島県社会福祉協議会 社会福祉法人経営者協議会 総会 | 社福) 福島県社会福祉協議会社福) 経営者協議会 | 1 | 特養 | 施設長 |
| 48 | 3月9日 | 平成28年度県老協・施設部会・いわき支部職員合同研修会 | 福島県社会福祉協議会老人福祉施設協議会施設部会いわき支部 | 5 | 特養 デイ | 統括主任相談員 介護員 2 介護支援専門員 生活相談員 |
| *合計 | | | | | 60 | 名 |
| *内訳 | | | | | 特養 | 51 名 |
| | | | | | デイ | 7 名 |
| | | | | | 居宅 | 2 名 |

平成 28 年 度 事 業 報 告

施設名：デイサービスセンター 聖徳荘 （地域密着型通所介護）

| | | |
|--|---|--------------|
| <p>運営方針</p> | <p>在宅の要介護者・要支援者へ通所介護サービスを提供することにより、利用者の心身機能の維持向上、社会的孤立感の解消等を図るとともに、安定した在宅生活を助長し、その家族等介護者の精神的、身体的な負担の軽減を図る。</p> | |
| | <p>重点目標 / 実施計画</p> | <p>◎実施報告</p> |
| <p>1. 利用者のニーズに応じたサービスの提供と介護者の介護負担の軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉車両を一台購入することにより、利用者送迎の充実化を図る。 ・家族や居宅介護支援事業所等と連絡を密にし、利用者の状態を把握し、利用者が希望し必要とするサービスを提供する。 ・介護者の介護負担軽減につながるサービスを提供する。 ・季節に応じた行事等を行い、四季を感じ、また生きがいを感じられるようサービスの提供に努める。 ・定期的にケアカンファレンスを行い、多職種協働で通所介護計画書を作成し、見直し改善を図り、利用者の状態に合ったサービスを提供する。 | <ul style="list-style-type: none"> ◎介護者の介護負担軽減につながるサービスの提供に努めた。 ◎福祉車両の購入、車両整備等により、利用者送迎の充実化に努めた。 ◎家族や居宅介護支援事業所等と連絡を密にし、利用者の状態把握、情報共有を図り、利用者が希望し必要とするサービスの提供に努めた。 ◎レクリエーション等内容の充実を図り、楽しく過ごせる時間の提供に努めた。 ◎季節に応じた行事等を行い、四季を感じ、生きがいを感じられるようなサービスの提供に努めた。 ◎定期的にケアカンファレンスを行い、多職種協働で通所介護計画書を作成し、見直し改善を図り、利用者の状態に合った、サービスや個別機能訓練の提供に努めた。 | |
| <p>2. 研修等への積極的な参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設外研修に積極的に参加し、研修報告の勉強会を開催するなどして、知識及び技術の向上に努める。 | <ul style="list-style-type: none"> ◎積極的に研修に参加することができ、報告会を開催するなど、知識及び技術の向上に努めることができた。 | |
| <p>3. 苦情処理の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者及び家族等から苦情があった場合には直ちに対処するとともに、苦情解決委員会設置要綱に基づき、速やかな解決に努める。 | <ul style="list-style-type: none"> ◎利用者及び家族等から苦情があった場合には直ちに対処するとともに、苦情解決委員会設置要綱に基づき、速やかな解決をするよう努めた。 | |
| <p>4. 事故対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故が発生した場合は、マニュアルに基づき速やかに対処し、解決に努める。 ・事故が発生した場合には、事故のシミュレーションによる検討を行い、再発防止につなげる。 | <ul style="list-style-type: none"> ◎事故が発生した場合は、マニュアルに基づき速やかに対処し、解決するように努めた。 ◎事故等が発生した場合は、シミュレーションによる検討会、研修会を行い、再発防止に努めた。 | |
| <p>5. 給食</p> <p>(1) 健康を維持・増進するため、個々の適切な栄養管理を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の健康状態に合わせた適切な栄養量・食態などを考慮し、食事提供する。 <p>(2) 個々のQOL（生活の質）の向上に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の嗜好に合わせ、代替食を提供したり、月2回の行事食などから、季節感のある豊かな食生活を過ごしていただく。 | <ul style="list-style-type: none"> ◎利用者の健康状態に合わせた適切な栄養量・食事形態などを考慮し食事提供を実施し健康管理を図った。 ◎利用者の嗜好調査に応じ、代替食を提供した。月1回以上は季節の行事食を実施し、楽しんでいただくよう努めた。 | |

平成 28 年 度 事 業 報 告

施設名：デイサービスセンター 聖徳荘 （認知症対応型通所介護）

| <p>運営方針</p> | <p>認知症の診断を受けている要介護者・要支援者へ通所介護サービスを提供することにより、利用者の心身機能の維持向上、社会的孤立感の解消等を図るとともに、安定した在宅生活を助長し、その家族等介護者の精神的、身体的な負担の軽減を図る。認知症に対する専門的な知識・対応を用いて症状の緩和・進行予防に努め、その家族等介護者の相談に対応していく。</p> |
|---|---|
| <p>重点目標 / ・ 実施計画</p> | <p>・ 実施報告</p> |
| <p>1. 利用者のニーズに応じたサービスの提供と介護者の介護負担の軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族や居宅介護支援事業所等と連絡を密にし、利用者の状態を把握し、利用者が希望し必要とするサービスを提供する。 ・ 介護者の介護負担軽減につながるサービスを提供する。 ・ 季節に応じた行事等を行い、四季を感じ、また生きがいを感じられるようサービスの提供に努める。 ・ 定期的にケアカンファレンスを行い、多職種協働で通所介護計画書を作成し、見直し改善を図り、利用者の状態に合ったサービスを提供する。 | <ul style="list-style-type: none"> ◎介護者の介護負担軽減につながるサービスの提供に努めた。 ◎福祉車両の購入、車両整備等により、利用者送迎の充実化に努めた。 ◎家族や居宅介護支援事業所等と連絡を密にし、利用者の状態把握、情報共有を図り、利用者が希望し必要とするサービスの提供に努めた。 ◎レクリエーション等内容の充実を図り、楽しく過ごせる時間の提供に努めた。 ◎季節に応じた行事等を行い、四季を感じ、生きがいを感じられるようなサービスの提供に努めた。 ◎定期的にケアカンファレンスを行い、多職種協働で通所介護計画書を作成し、見直し改善を図り、利用者の状態に合った、サービスや個別機能訓練の提供に努めた。 |
| <p>2. 研修等への積極的な参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設外研修に積極的に参加し、研修報告の勉強会を開催するなどして、知識及び技術の向上に努める。 | <ul style="list-style-type: none"> ◎積極的に研修に参加することができ、報告会を開催するなど、知識及び技術の向上に努めることができた。 |
| <p>3. 苦情処理の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者及び家族等から苦情があった場合には直ちに対処するとともに、苦情解決委員会設置要綱に基づき、速やかな解決に努める。 | <ul style="list-style-type: none"> ◎利用者及び家族等から苦情があった場合には直ちに対処するとともに、苦情解決委員会設置要綱に基づき、速やかな解決をするよう努めた。 |
| <p>4. 事故対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事故が発生した場合は、マニュアルに基づき速やかに対処し、解決に努める。 ・ 事故が発生した場合には、事故のシミュレーションによる検討を行い、再発防止につなげる。 | <ul style="list-style-type: none"> ◎事故が発生した場合は、マニュアルに基づき速やかに対処し、解決するよう努めた。 ◎事故等が発生した場合は、シミュレーションによる検討会、研修会を行い、再発防止に努めた。 |
| <p>5. 給食</p> <ul style="list-style-type: none"> ①健康を維持・増進するため、個々の適切な栄養管理を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の健康状態に合わせた適切な栄養量・食態などを考慮し、食事提供する。 ②個々のQOL（生活の質）の向上に努める。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の嗜好に合わせ、代替食を提供したり、月2回の行事食などから、季節感のある豊かな食生活を過ごしていただく。 | <ul style="list-style-type: none"> ◎利用者の健康状態に合わせた適切な栄養量・食事形態などを考慮し食事提供を実施し健康管理を図った。 ◎利用者の嗜好調査に応じ、代替食を提供した。月1回以上は季節の行事食を実施し、楽しんでいただくよう努めた。 |

平成 28 年 度 事 業 報 告

施設名：居宅介護支援事業所 聖徳荘

| | | |
|--|---|--|
| 運営方針 | 在宅において、利用者様ひとりひとりが安心してその人らしく暮らせるよう自立支援に努め、大切な人達との絆を大切にする。 | |
| 重点目標 / ・実施計画 | ◎ 実施報告 | |
| <p>1. 居宅サービスが円滑に提供できるよう、居宅サービス提供事業者及び利用者のかかりつけ医師等との連携を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関との連携を密にとる。 | ◎医師や関係機関との連携が出来るだけ取るように努力することができた。 | |
| <p>2. 個別のニーズに対応し、その人らしさを組み入れた居宅サービス計画を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ニーズに応じたサービス計画書の作成。 | ◎本人・家族の視点になり各事業所と連携を図り、居宅サービス計画を作成することができた。 | |
| <p>3. 多様なニーズに応えられるよう、研修会等に参加し、資質の向上に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修会等への積極的参加。 ・ 利用者様家族等が安心して相談されるよう援助技術の向上に努める。 | <p>◎研修会や施設見学などへ参加し、資質の向上に努めることができた。</p> <p>◎安心して相談できる環境づくりに努めた。</p> | |